

『みえ防犯キャンパス』（防犯フォーラム）との連携について

三重県戦略企画部企画課

1 「みえ防犯キャンパス」との連携について

県交通安全・消費生活課では県内市町と協力し、若者をはじめとする幅広い世代の方々が、防犯や犯罪被害者の実状に理解を深めることにより、地域の防犯活動がより活発に展開されることを目的に「みえ防犯キャンパス」を開催しています。

開催に際しては、県内の大学生有志が「みえ防犯キャンパス実行委員会」を立ち上げ、その実行委員会が中心となって行事の企画・運営などを行いました。

平成 25 年度「みえ防犯キャンパス」
 日時：平成 25 年 8 月 31 日（土）
 場所：四日市港ポートビル
 一般来場者：自主防犯活動団体員の方々や親子連れなど約 80 名
 協力：四日市大学、鈴鹿工業高等専門学校、三重大学、皇學館大学 他

「みえ防犯キャンパス」
 誰かのうちで誰かが犯罪被害を受けたらどうする？ 考えて！

私たちの身近でよく見られる「防犯」という言葉。しかし、身近にあるにもかかわらず知らないままに過ごしてしまっている。今回は、防犯に関する知識を深め、防犯意識を高め、防犯活動に積極的に参加していただくための「みえ防犯キャンパス」を開催します。

【主 催】 みえ防犯キャンパス実行委員会 実行委員長 三重大学 三重大学 4 年次
 【協 賛】 三重県警察 三重県警本部 三重県警本部 三重県警本部
 【協 賛】 三重大学 鈴鹿工業高等専門学校 三重大学 四日市大学（五十音順）
 四日市市防犯活動協議会 公益財団法人三重県警察本部防犯センター
 【日 時】 平成 25 年 8 月 31 日（土） 会場 12:00 開場 13:00
 【場 所】 四日市港ポートビル 3F（会場） 3F 防犯活動センター
 （三重県四日市港港下町 3-1-1） 三重県本警察本部防犯センター 3F
 【プログラム】 13:00 開会式 13:10 防犯フォーラム 13:30 防犯体験コーナー
 13:40 防犯体験コーナー 13:50 防犯体験コーナー 14:00 防犯体験コーナー
 14:10 防犯体験コーナー 14:20 防犯体験コーナー 14:30 防犯体験コーナー
 14:40 防犯体験コーナー 14:50 防犯体験コーナー 15:00 防犯体験コーナー
 15:10 閉会式 15:30 退場

【参加費】 無料
 【申込方法】 申込書に必要事項を記入の上、下記まで郵送、ファックスにより、平成 25 年 8 月 25 日（木）までご申込ください。または、記入内容を電話でお電話にてお申し込みいただけます。

【申込先】 問い合わせ先】 〒504-8570 三重県津市津市 3-3-1 防犯センター 3F 防犯センター
 三重県防犯センター 防犯センター 防犯センター
 電話 059-221-2212 059-221-2212 059-221-2212
 〒504-8570 三重県津市津市 3-3-1 防犯センター 3F 防犯センター

【申込書】 申込書
 申込者 氏名 住所 性別 電話番号
 団体名 学年参加人数 人

2 実行委員会による開催案の検討

犯罪のない安全・安心な三重のまちづくりを目的とした、防犯等をテーマに若者の感性を生かした手づくりの防犯フォーラムである平成 25 年度「みえ防犯キャンパス」の開催に向けて、県内高等教育機関の学生により組織された実行委員会を設置しました。

なお、実行委員会は計 10 回程度開催され、学生が主体となり企画案を検討しました。



3 「防犯キャンパス」当日の運営

当日は学生らが中心となり、会場設営、司会進行、運営を行いました。

1) 当日のプログラム

日時：平成 25 年 11 月 17 日 (日)

会場：四日市港ポートビル 2階 大会議室

13:00 開会

13:05 主催者あいさつ等

13:10 防犯研究発表・地域パトロール活動紹介

14:45 「いのちのキャンパスって？」

15:20 「クイズで学ぼう！あなたの知識ってどんなもんじゃい？」

16:10 シンガーソングライター あつさん コンサート

17:00 終了

2) 来賓等

NPO法人三重県防犯設備協会 理事長 松吉 善弘氏

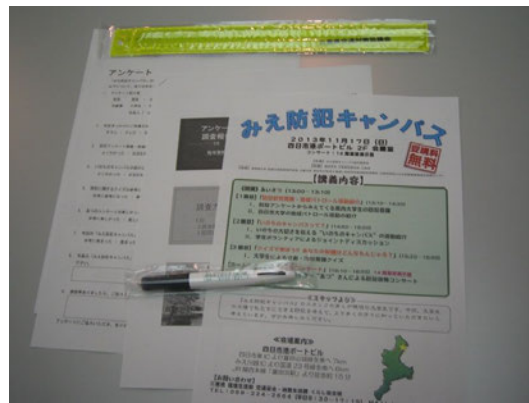
みえ犯罪被害者総合支援センター 局長 増田 正人氏

いのちの言葉プロジェクト代表、いのちのキャンパス顧問 鷲見 美恵子氏

三重県警察本部 広報広聴課 片岡 靖氏 他

3) 一般来場者

自主防犯活動団体員の方々や親子連れなど約 80 名



4) 概要

< 開会 >

司会を務める実行委員会副代表の学生による開催宣言

- ・ 2010 年から県内大学等に在籍する学生が中心となって企画運営
- ・ 今年は防犯に対する大学生の意識調査を実施し発表する。
- ・ 今年のサブタイトルは「**ほ**くらが**う**ちだす**はん**ざいのないまち ~いつやるの今でしょ」

< 主催者あいさつ等 >

(四日市市 市民生活文化部 次長 山下 二三夫 氏)

- ・ 8月の朝日町での痛ましい事件をはじめ、全国で犯罪被害がみられるなか、大学生が中心となった防犯キャンパスが開かれることを心強く思う。
- ・ 四日市市としても防犯カメラの設置など、地域の防犯を強化しているところ。

(県環境生活部 交通安全・消費生活課 浦川 広巳課長)

- ・ 県内の犯罪認知件数は減少傾向にあり、平成 14 年度の半数程度となっている。一方で、振込詐欺の被害増加など、県民の体感治安はまだまだといった状況
- ・ 県では、「地域の安全は地域で守る」という考えのもと、地域住民のみなさんの活動を支援している。
- ・ ボランティアの高齢化や固定化が課題となるなか、大学生が防犯に関心をもって活動してくれることは大変ありがたい。
- ・ 地域ボランティアの皆さんと学生がしっかり連携して地域の安全を守って欲しい。

< 研究発表・地域パトロール活動紹介 >

大学生の防犯に対する意識調査にかかる研究発表

(調査概要)

課題：犯罪対策を自主的に行っている大学生は少ないと考えられること

目的：各大学や所在地域に応じた様々な防犯対策を提言すること

対象：県内大学に在籍する学生 300 名 (四日市大、三重大、皇学館大で各 100 名)

設問：8 項目 (危険箇所・防犯意識、自転車の管理、防犯対策等)

回答者の属性：男女別、学年別

(アンケート結果の要点)

- ・ 県内大学生の約 7 割が学校周辺に危険箇所があると感じている。特に三重大学では 8 割の学生は危険箇所があると感じている。
- ・ 一方で、日常生活で防犯対策をしている学生は全体の 4 割程度。
- ・ 学校で不審者にあつたと答えた学生は 2 割程度。
- ・ 犯罪に巻き込まれた経験があると答えた学生は 1 割未満だが、自転車盗難にあつた経験がある学生は 3 割以上。自転車盗難が犯罪被害という意識が薄い。
- ・ 自転車盗難防止にはツーロック以上で効果がある。盗難被害経験者のうち鍵が「1 つの」場合と「なし」の場合は、ほぼ同数。 など

四日市大学「地域パトロール」活動紹介 スライドを使って日ごろの活動紹介を実施

(要旨)

- ・メンバー数：18名（全員が四日市大学の学生）
- ・活動は毎週火曜日の17:00からの1時間程度を基本として、地域の皆さんとの交流等を別に行っている。
- ・活動地域は3地域（四日市大学周辺、あさヶ丘、白梅の丘）。白梅では地域の皆さんと一緒にパトロールしている。
- ・活動の目的は、学生によるパトロール活動を通じて、地域の防犯意識を高め、安全で安心なまちづくりにつなげること。
- ・活動に込める想いとしては「地域の方々と四日市大学をつなぐ」、「コミュニティの絆づくり」、「地域の方々とふれあい」、「地域の防災に貢献する」など
- ・活動の課題としては、「PRや広報活動」、「活動場所と活動時間の確保」、「メンバーの安全対策」、「地域の方の巻き込み・参加」があげられる。

(質問)

Q.メンバーの参加のきっかけは？

先輩や友人に誘われたため参加してみたら、続ける間に活動や地域の方との交流が楽しくなった。

地域の皆さんから声をかけてもらったり、褒められることがうれしくなった。



<「いのちのキャンパスって？」>

- ・四日市大学、鈴鹿医療科学大学、鈴鹿国際大学、三重大学、皇学館大学の学生で構成する実行員会が中心となり、平成26年3月1日（土）から2日（日）にかけて三重大学情報科学館で開催するイベント
- ・大学生が大学生に向けて「命の大切さ」を伝えることが目的で、交通事故被害者やご遺族の声を、これから免許を取得し、また、飲酒できる年齢となる若者に伝えていく。
- ・実行委員会のメンバーは企画班、広報班、協賛班などの役割をそれぞれになっている。

- ・企画内容は、交通事故被害者やご遺族との対話、交通事故の現状等の展示、大学生の活動発表、相可高校とのコラボイベント等を計画している。

(四日市大学地域パトロールとのジョイント・ディスカッション)

「私たちの活動を社会に広げるためには」

- ・地域とのつながりを広めることが大事ではないか
- ・いのちのキャンパスは年1回のイベントなので、できるだけ沢山の方にご来場いただく工夫が必要。今年は三重大学内の他サークルに参加してもらうよう呼びかけている。
- ・将来は、他大学や自治体の方にも連携して参加してほしいと考えている。
- ・より多くの地域でミニイベント等を実施できれば良いと思う。

(来賓コメント)

「みえ犯罪被害者総合支援センター 局長 増田 正人氏」

- ・県では地域の皆さんの活動を支援しており、私も委員として参加している。
- ・我々行政の役割は、思いをもって活動している皆さんの間を取り持って繋げることと考える。
- ・また活動を継続していくことが本当に難しい点だと思う。大学側も巻き込んで活動を展開して、将来にわたって長く活動してほしい。

「三重県警察本部 広報広聴課 片岡 靖氏」

- ・活動の発信に課題があるとの話があったが、広報の面で我々としても支援していきたい。



<「クイズで学ぼう！あなたの知識ってどんなもんじゃい？」>

学生によるシチュエーション3択クイズを寸劇方式で出題し、来場者に回答してもらうことで、防犯に対する知識を学んでもらいました。

(設問例)

「バイトの帰り道での不審者への対応」： レモン 防犯スプレー 小麦粉

「夜道で一人歩きの際にひたくり遭遇」： 車道の反対にバックを持つ 防犯ブザーを鳴らす 取り返そうと引っ張る

「未成年が夜のコンビニで補導。なぜ？」： 肉まんを食べていたから ポケットが膨らんでいたから 夜 10 時を過ぎていたから



<シンガーソングライター あつさん コンサート>

・14階の展望台へ移動してのミニコンサートを実施し、来場者と学生がともに楽しみながら、イベントを締め括りました。

(あつさんプロフィール)

三重県出身・ギター弾き語りシンガーソングライター。

2006年、フジテレビ系「めっちゃ×2イケてるッ！」エンディングテーマ「笑学校」でメジャーデビュー！メッセージソングを中心に繰り広げるライブは、学校や研修会でのトーク&ライブとしても好評！また様々な企業・団体のイメージソングやキャンペーンソングの制作も手掛けるなど、現代社会へのメッセージャーを目指し、精力的に活動中！

